

地域とわたしたちの心意気をつたえる

Vol.  
**04**

Total.78  
2025  
Spring

TAKE  
FREE

# 心意気通信

Kokoroiki-Tsushin



## CONTENTS

心意気インタビュー

民謡一家

スタッフ&事例紹介 他

あなたの  
心意気は？



昭和50年代の民謡一家。



歌、太鼓、MCなど家族内で分担があるとのこと。太鼓の曲目は10曲以上。イベント内容にまつわる民謡を演奏することも。



# 心意気 インタビュー

民謡一家

米沢のお祭りに  
寄り添い、  
感動を届けることを  
大切に

よねざわ紅花まつりでの演奏。  
民謡や演奏に合わせて踊る方  
達も。米沢市観光PRの為に  
関東や海外へ行くこともある  
そうです。

な印象を与えたそうです。  
現在は三代目の佐藤仁一さん  
を代表に、米沢のお祭りや  
イベント、地域の盆踊りなど  
を中心に活動しています。民  
謡と和太鼓の他に、時折尺八  
や三味線を取り入れている  
こと。催し物の内容によっ  
て民謡や和太鼓の曲目、人数  
を変更して演奏しています。  
ほかにも自主公演を開催し  
たり、民謡・三味線・尺八・  
和太鼓の指導など伝統文化の  
継承にも力を入れています。  
家族で民謡や和太鼓の活動を  
続けている団体は全国的にも  
珍しいといわれています。



米沢上杉まつりをはじめ、米  
沢のさまざまなお祭りやステ  
ージイベントに欠かせない民謡一  
家の演奏。米沢に暮らす方の中  
には、ご存じの方も多いのでは  
ないでしょうか。今回は、民謡  
一家三代目佐藤仁一さんに、演  
奏に込める想いや活動への思い  
についてお話を伺いました。

**民謡一家の  
はじまりと現在**

民謡一家は昭和二十三年、  
米沢市民盆踊りを復活させる  
ため、初代代表の佐藤幸吉郎  
さん夫妻を中心に民謡会を結  
成したことがきっかけで始ま  
りました。メンバーは初代夫  
妻の他に、後に二代目となる  
長男佐藤仁さん、長女、次女、  
三女の六人。戦後の民謡ブー  
ムも追い風となり、当初は米  
沢の盆踊りや花笠音頭など、  
民謡を主軸にしていました。  
やがて米沢上杉まつりに「上  
杉太鼓」として参加するよう



民謡一家が米沢上杉まつりに出演するきっかけは、初代幸吉郎さんが馬に蹄鉄を装着する装蹄師をしており、お祭りで使用する馬のお世話をしていたことから。それから上杉謙信公役を代々担当。「上杉太鼓」は昭和41年頃から上杉まつりに登場し、平成21年、大河ドラマ「天地人」でBGMとして使用されました。

## 民謡や和太鼓は 佐藤家の魂

民謡一家にとって、民謡や和太鼓とは何かを尋ねると、「人生において切り離せないもの」と仁一さんは語ります。「間違いなく家にあるもので、仕事にもなっている。もちろん、好きでやってもいます。祖母の代から受け継いできた佐藤家全員の想いとしても、民謡や和太鼓っていうのは我々の魂であるかもしれないです」

ね。心の中のすごく深い根っこに刻まれてるといえるか。そして、その中には米沢のお祭りもあります。お祭りとともに歩んできたからこそ、民謡や和太鼓は私たちにとって大切な心の支えになっていると思えます。はっきりした言葉にはできませんが、間違いなく自分の心の中で大事なものです。」そう語る仁一さんの言葉からは、民謡一家としての誇りと信念が感じられました。



## 三代目として

仁一さんは、一歳の頃から舞台上がっていました。芸事を続けることや家業を継ぐことに悩んだ時期もありましたが、長く受け継がれてきた歴史を守りたいという思いから、十八歳で本格的に芸を磨き、プロの道へ進みます。令和四年には三代目を継承。「民謡一家としての歴史は長いですが、私自身はまだ出発したばかり。米沢はもちろん、県外や海外にも活動の場を広げていきたい」と意気込みを語ります。

## 米沢のお祭りが あってこそ

民謡一家として長年活動する中で大変だったことは、日々の稽古に加え、時代の変化にどう対応していくかという点。先代からも「時代に合ったものを取り入れるよう

に」とよく言われていたそうです。「受け継いできたものの中に、特別な『情熱』のようなものがあるかと聞かれると、そうではないかもしれませんが。ただ、一つだけ変わらなない軸があるとすれば、それは米沢のお祭りです。お祭りがあつたおかげで、この活動が続いてきた。米沢に根ざした活動を大切にしてきたからこそ、ここまで続けてこられたのだと思います。」活動を続ける中で最も嬉しいのは、お客さんに楽しんでもらえること。ただ「楽しくかつた」で終わるのではなく、「今、観られてよかった」と思ってもらえるような感動を届けられるよう、日々努力を重ねているそうです。

## 民謡一家さまの心意気

### 米沢のお祭りと共に

民謡一家の活動を「米沢のお祭りがあるからこそ続けられている」と何度もお話していた仁一さん。

民謡一家を始めた初代幸吉郎さんは戦後の厳しい時代に「地域の皆さんに楽しんでもらいたい」という想いを抱いていたのではないのでしょうか。その想いから民謡一家の活動は地域に寄り添いながら広がり、気づけば米沢のお祭りに欠かせ

ない存在となっていたように思います。お祭りは昔から続くものもあれば、時代とともに新たに生まれるものもあります。長い歴史と文化を大切にしつつ、時代の変化に寄り添い共に歩んでいく民謡一家。これからも米沢のお祭りを彩っていく活躍を楽しみにしています。



## Information

### 直近のイベント

- 米沢上杉まつり
- ・開幕祭ステージイベント  
4月29日(祝・火)
- ・武禊式 5月2日(金)
- ・上杉行列、川中島合戦  
5月3日(祝・土)

### お問合せ

TEL : 0238-23-4746



HP



Instagram

さらに詳しいインタビュー内容は  
心意気デザイン  
サイト内の  
コラム記事にて  
ご覧いただけます



個性豊かなスタッフを  
不定期で紹介!

川島印刷

## スタッフ紹介

今後仕事で挑戦したいこと  
目標にしていること

自分の担当する業務分野で、  
少しでも将来に繋がるものを残すこと

休日は何をして  
過ごしてる?

直売所のハンゴや日帰り温泉入浴、  
ご当地ラーメン店巡りなどをやっています

今一番欲しいものは?

安全装置が充実した車



沼澤 芳之

Numazawa Yoshiyuki  
・システムエンジニア  
・入社11年目

最近楽しみにしていること

少し遠出の旅を考えてみる

今までの業務の中で  
一番思い出に残っていること

8年前に行った社内基幹システムのリニューアル。  
新年度(7月)から切り替えたいと  
言われたときは、  
頭の中の血管がプチプチ  
切れる思いがしました...



「お外大好き」



雪に興味津々

「おらえの」  
めんごい  
ZOO

Aren't my animals so cute!!

GUEST

Name:

エイチ ワイルドウィンド  
H.WILDWIND

ジェーピー キャンディタフト リン  
JP CANDYTAF LYNN

ホッヘンハイム ゲンブルドア  
Hoffenheim Dumbledore



- 年齢:1歳 ●性別:♀
- 好きな食べ物:梨、りんご、ひまちー、雪
- 嫌いな食べ物:今のところなし
- 性格:シエルティにしては珍しく  
とても社会的で好奇心旺盛

通称 リンです!



出合いのきっかけ

遠路はるばる三重から山形  
にやって来ました。お互い  
に不安いっぱいでしたが、  
一緒に住む時間が長くな  
り、ようやく慣れてきたの  
か、色んな表情を見せてく  
れ、日々癒されています。  
頻繁に見せる虚無の表情が  
なんとも魅力的です。

元気いっぱい!!

家の中では飼い主  
の行動が気になっ  
ていつもそわそわ  
しています。お散歩  
やドックランでの  
走り込みが大好き  
で、私たちの体力が  
追いつかないほど  
パワフルです。

## 制作事例

心気が世の中へ伝わるように、  
作り手と共にカタチにしてきた  
デザイン事例をご紹介します。

創業者 日進堂様

### 会社・お菓子紹介 リーフレット

- 営業担当:梅津 貴幸
- 制作者:本間 かりん  
(デザイン・イラスト)



人生の大切な瞬間に  
お菓子が寄り添っている  
シーンをイラストで表現

日進堂様は、長井市にある191  
5年創業の老舗お菓子店。店主の味  
田様は現在4代目です。

「お菓子は、人の一生にそっ  
と寄り添うもの。そんな気持ち  
をお菓子の味に託して」という初代店主  
である祖父の想いを受け継ぎ、地域  
に密着したお菓子作りをしていま  
す。

当初はお菓子の紹介のみを掲載  
する予定でしたが、初代からの想  
いを伝える方が、日進堂様の大切  
にしている心気が伝わると思いま  
した。

そこで、お祝いごとや帰省、イ  
ベントなど人生の要所でお菓子が寄  
り添っているシーンを水彩と色鉛  
筆のイラストで表現しました。お菓  
子も実物を見ながら描いています。  
イラストを使用することにより、お  
菓手にちなんだシーンが思い出し  
て表現されたような風合いにな  
り、日進堂様のお菓子に対するあ  
たかな想いがより引き立つリー  
フレットになったかと思えます。

心気デザイン  
サイトでも  
ご覧いただけます▼



今回の飼い主様は、  
米沢にお住まいの菅澤さんでした。  
ありがとうございました!

## 入園メンバー大募集!

「おらえのめんごいずー」では、あなたの自慢のペットを  
ご紹介させていただきます。  
肉球があってもなくてもペットへの愛があればOK!  
お近くの川島社員がQRよりお気軽にお申込みください!

入園届はコチラ!



川島印刷企画 / 紙の魅力を伝える展示

# みんなで紙を活かす場

紙に触れる、見る、ときめく  
みんなで紙を活かす場

紙媒体を主力商材として扱っている私たちが、紙を身近に感じる機会をもっと増やしていきたいと社内で話題になりました。そこで、紙そのものの魅力や面白さを伝えられる展示を開催します。

展示の準備を進めていくうちに「紙ってこんなに種類があるし、こんな可能性がありそう!」と社内でも驚きの声。紙好きの方はもちろん、普段あまり紙に触れる機会が少ない方もぜひ足を運んでみてください!



紙の心意気を見つめるワークを行いました



社内にある特殊な紙を活用!

2025.  
6/13(金)・14(土)  
10:00~17:00  
ナセBA 第3/4展示室

入場  
無料

## WEBアンケートご協力のお願ひ

ご回答いただいた内容は、今後の制作の参考にさせていただきます!  
ぜひご協力お願いいたします。

アンケートにご回答いただいた方には… **先着10名**

郵送かご来社かを  
選択ください

### 紅花の種50粒プレゼント!

昨年紅花畑からスタッフが収穫した紅花の種。  
プランターで育てられます!この機会に紅花を植えてみませんか?



編集後記

地域のお祭りに  
寄り添い続ける姿勢

by スタッフH

民謡一家にとって大切な軸は何かという話題になった際、米沢のお祭りがあるからこそ、自分達の活動ができていくという仁一さんの言葉が印象的でした。自分達のパフォーマンスだけではなく、地域あつてこそその活躍という姿勢。初代から受け継がれてきたものがあるとするば、地域に寄り添いながら歩いていくことではないかと感じます。

米沢に来てから、民謡や和太鼓に触れる機会がぐっと増えました。それは、民謡一家が米沢のさまざまなお祭りやイベントに必ず出演し、地域と共に歩んでいるからこそだと思います。心意気を知ったことで、今

までとまた違う視点でパフォーマンスを見ることができそうだと感じました。今後の更なる活躍を楽しみにしています。



## 心意気通信 (旧かわしま通信) Kokoroiki Tsushin Vol.04 total.78

Spring 2025 2025年4月発行

発行/株式会社 川島印刷 〒992-0021 山形県米沢市大字花沢 221-2  
TEL / 0238-21-5511 FAX / 0238-21-5514

URL / <https://kawa-prt.com> 企画・制作/川島印刷 社外報委員会  
鈴木貴美子、本間かりん、小林侑輝、岡部智佳、澤澤貴志

取材協力/民謡一家様

心意気デザイン



川島印刷HP



Instagram



Facebook

